



令和4年度実績

【令和4年度～令和7年度】

笑顔で元気、ともに歩むまちづくり まちづくりビジョン

～持続可能で、誰一人取り残さない八頭を目指して～

八頭の笑顔を
ともに育む

人口対策・子育て
健康・福祉

八頭の豊かさを
ともに創る

農林業・商工業
観光

八頭の輝きを
ともに紡ぐ

教育・文化
スポーツ

八頭の安心を
ともに築く

防災・防犯
交通・環境

八頭の明日を
ともに歩む

協働・参画
人権・行財政

八頭町長

令和5年1月



【八頭市の笑顔とともに育む(人口対策・子育て・健康・福祉)】

◎移住相談会、空き家の利活用等を推進し、交流人口関係人口の構築により、定住人口に結び付け、住みたい、住み続けたい町、八頭町を目指します

◎妊娠・出産・産後ケアまで、切れ目のない支援と子育て世代への経済的負担を軽減し、安心して生き、育てることのできる子育て環境を充実します

◎新型コロナウイルス感染症予防対策を進め、保健事業を充実し、ライフステージに応じた心と体の健康づくりを推進します

◎誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会福祉協議会、まちづくり委員会等の福祉関係団体と協働し、地域ぐるみで支えあう福祉のまちづくりを推進します

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
人口対策	移住・定住の促進	新規	移住者受入組織・団体の創出・支援 (ワンストップ定住相談対応)	移住・定住が促進されることにより、地域の活性化を促進	【空き家利活用件数】 ・5件/年	【R4】 ・2件/年	・民間による空き家を利活用した交流拠点や飲食店の整備を支援	累計件数 ・20件	地域戦略室
		継続	空き家のマッチング及び空き家バンクの登録		【空き家のマッチング件数】 ・5件/年	【R4】 ・7件/年	・民間団体との連携によりマッチング支援体制の強化を図る	累計件数 ・20件	地域戦略室
		継続			【空き家バンク新規登録件数】 ・5件/年	【R4】 ・8件/年	・固定資産税納税通知書にチラシを同封したことにより、所有者からの問い合わせが増加 ・引き続きあらゆる方法で情報発信を行う	累計件数 ・20件	地域戦略室
		継続	空き家の所有者及び入居者に対する改修費用の1/2(限度額200万円)を助成		【新規補助件数】 ・6件/年	【R4】 ・6件/年	・補助対象の拡充のため空き家利活用流通促進事業補助金を新設	累計件数 ・24件	地域戦略室
		継続	新たな宅地造成の促進 (民間整備分を含む)		【宅地造成区画数】 15区画/年	【R4】 ・0区画	・計画はあるが未完了	累計区画数 ・60区画	建設課
		継続	新たに取得した住宅に係る固定資産税の額の1/2相当額を3年間補助		【固定資産税補助件数】 ・100件/年	【R4】 ・144件	・定住人口の増加を図るため、新築住宅取得に伴う固定資産税を補助 ・引き続き情報提供を行い、移住・定住を促進	移住・定住人口の増加を促進	税務課
子育て支援	子育て環境の整備	新規	雨天時等における遊び場の提供	乳幼児の健全な子育て環境の充実	施設(スペース)整備の実施	【R4】 ・事業内容の協議	・候補場所の抽出と併せて機能整備の検討や関係機関との協議を行い、子育て支援センターの充実を図る方針を確認	乳幼児が安心して遊べる施設(スペース)整備 ・1箇所	町民課
		新規	放課後児童クラブの施設整備	健全な育成環境の充実	施設整備の実施	【R4】 ・事業内容の検討	・検討、協議の結果、現施設は解体し、施設の新築を行う ・R5年度末完成、R6年度運営開始を目指す	施設の整備 ・1箇所	学校教育課
	子育て世帯の経済的負担の軽減	継続	出生祝い金の支給	希望のこなう妊娠及び出産を支援	【出生祝い金】 ・30,000円/人	【R4】 ・申請者87人 2,700,000円 (支給対象児童90人)	・出産祝い金に加え、ごみ袋・はじめてばこの追加品目を支給 ・森林環境譲与税を活用し、出産祝い品(町産ヒノキ使用の積み木セット)をプレゼント	出生祝い金を支給し、経済的負担を軽減	町民課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
		拡充	在宅で育児を行っている世帯を対象とした給付金の支給	乳児の健全な育成環境の充実	【在宅育児世帯支援給付金】 R4:6か月支給 R5～R7:18か月支給	【R4】 ・申請者23人 2,970,000円 (給付対象延べ99月)	・新規及び期間延長に伴う対象者向けの周知等 (HP掲載、防災無線等)	乳児を日中家庭で保育する保護者等に対する経済的負担を軽減	町民課
		新規	低所得者世帯への大学等入学支援金の支給	大学等への進学時の経済的負担を軽減	【進学支援金】 ・300,000円/人	【R4】 ・支給要綱の制定	・R5年に向けての周知等の準備 (HP掲載、防災無線等)	学生の学びの機会を確保	学校教育課
子どもの貧困対策		継続	子どもの居場所(子ども食堂)を実施する団体等の活動、立ち上げを支援	子どもの孤立・貧困対策、児童福祉の向上を図るとともに地域住民等からの食材の提供等による地域福祉力の向上	【子ども食堂団体数】 R4:3団体 R5:4団体 R6:4団体 R7:4団体	【R4】 ・3団体	・子どもの孤立・貧困対策として児童の福祉向上の支援を行った。関係機関との連携により支援が課題	貧困・孤立などの問題を抱えている子どもと関係機関との連携により必要な支援につなげる仕組みを構築	福祉課
子どもの発達・養育支援		拡充	相談、教室、巡回指導による子どもの発達支援と新たに子育て世代に対するペアレントトレーニングの実施	発達段階にあった支援を保護者と共有し、関係機関が連携することにより、子育て環境、養育環境の充実	相談・支援の充実	【R4】 ・子どもの発達支援事業 284件(延べ数) ・子ども養育支援事業 <育児・家事援助> 0件(延べ数) <専門的相談支援> 59件(延べ数)	・子どもの個性を大切にしながら保護者の不安や困り感に寄り添い、発達段階にあった支援を保護者と共有しながら実施 ・事業継続のためには専門職の確保が課題 ・ペアレントトレーニングは実施に向けて検討中	子どもの個性を受け止め、適切な支援を受けながら成長できる子育て環境の構築	保健課
医療的ケア児の通学支援		新規	鳥取県内の特別支援学校に在籍し、医療的ケアが必要な児童生徒に対する通学支援	児童生徒の通学の安全確保及び保護者の負担軽減と学びの場の確保	通学支援の実施	【R4】 ・対象児童3名の支援実施 (福祉事業者へ業務委託と町雇上げ看護師の確保)	・1年を通して、対象児童の通学計画に沿った通学支援を実施 ・老朽化したリフト車の更新、看護師の確保が課題	医療的ケアの要る児童生徒の通学支援の継続	学校教育課
食物アレルギー対応食の提供		継続	食物アレルギーのある児童生徒に、学校給食で安心安全なアレルギー対応食を提供する(保護者、学校、給食センターが連携)	食物アレルギーのある児童生徒も安心安全な対応食の提供	アレルギー対応食の提供	【R4】 ・対象者43名 766食(提供延べ数)	・新規アレルギー対応食実施予定の児童生徒については学校と連携し保護者面談を実施 ・継続の児童生徒についても必要に応じて保護者面談を実施し、安心安全な対応食の提供に努めた ・アレルギー対応食専用容器に貼るカードを学校別に色分けする等、分かりやすい表記に変更し、誤食防止を図る	食物アレルギー対応食の提供を継続	学校給食共同調理場

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
健康づくり	検診受診率の向上	拡充	健康インセンティブ事業(健康ポイントラリー事業)の普及啓発の拡充及びニーズに応じた検診方法の検討	疾病予防及びがん等の早期発見、早期治療による医療費の削減と75歳未満年齢調整死亡率の低下	連携団体等の拡充及び検診方法の検討	【R4】 ・商工会との連携 ・健康ポイントラリーのポイント付与対象事業の拡大	・検診・健康ポイントラリー事業のチラシを商工会会報に折り込み ・公民館健康関連事業をポイント付与対象事業に追加 ・がん予防をテーマにしたがん検診の標語コンテストを実施し(応募数18作品)、最優秀・優秀作品を選出し、次年度からのポスター、チラシ、啓発物品等のがん検診PRIに活用 ・引き続き、壮年期・女性の受診率引き上げが課題 ・コロナ禍で受診控えもあったが、受診者数は少しずつ回復傾向にある	がん検診受診率向上 ・50%	保健課
	食を通じた健康づくりの推進	継続	伝達講習会、集落での健康教室を実施するとともに啓発活動を実施(CATV等)	生活習慣病の予防	CATVで年3テーマの実施 伝達講習会の継続実施 健康教室の継続実施	【R4】 ＜CATV＞ ・3テーマ/年 ＜伝達講習会＞ ・16回/年、148人 ＜健康教室＞ ・11回/年、173人	・新型コロナウイルスの影響により教室の中止や開催を見送り ・食生活改善推進員の協力が欠かせないが、会員数の減少や高齢化が課題	CATV ・3テーマ/年 伝達講習会 ・30回/年、300人 健康教室 ・15回/年、300人	保健課
	健康拠点施設機能の検討	新規	トレーニング機器を活用した運動教室の実施	健康増進・介護予防と医療費の抑制	【教室数】 R4～R5:調査研究 R6:1教室/年 R7:2教室/年	【R4】 ・実態把握と意向調査実施	・健康や21のアンケート調査にあわせ、運動習慣の把握と拠点施設についての意向調査を実施 ・年代や性別によって実態や意向に差があるため、事業化に向け調整が必要	実施教室 ・2教室/年	保健課
	八東保健センターの利用促進	継続	感染症予防対策を徹底し、機能訓練室や温水プール等の周知・啓発による利用促進	健康増進・介護予防と医療費の抑制	【温水プール等利用者数】 R4:4,600人/年 R5:4,900人/年 R6:5,200人/年 R7:5,500人/年	【R4】 ・3,661人	・マスクの着用、消毒の徹底に併せ、人数制限を設けることで安全な施設利用を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者は年次目標に未到達 ・徐々に感染予防対策は緩和されつつあるが、継続的に感染予防対策を続け、利用者の増加を図る	利用者数 ・5,500人/年	男女共同参画センター

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況 及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
福祉のまちづくり	障がい者支援	新規	児童発達支援センターの開設を支援	障がい児者の自立支援促進と 環境整備の推進	【整備支援】 R4～R6:調査研究 R7:1施設開設	【R4】 ・調査研究の実施	・児童発達支援センター 開設に向け、関係機関と の協議、実施方法の検討 等進めていくことが課題	児童発達支援センターの 整備支援	福祉課
	独居高齢者の見守りシステムの検討	新規	ICT技術を活用したサービスやホームセキュリ ティ会社が提供するサービスの調査研究	独居高齢者の安心安全な生活 を確保	調査研究	【R4】 ・調査研究の実施	・独居高齢者のICT技術を 活用した見守りシステム の構築を目指し、提供で きるサービスの調査研究 を行った。費用対効果に についても検証し、効果的な サービスの導入を図るこ とができるようにさらに調 査研究を行う必要あり	事業の創設	地域包括支 援センター 福祉課
	生活困窮者の自立支援	継続	総合相談窓口の設置(自立相談支援事業・国 庫3/4・福祉事務所設置町村必須事業) (社協、NPOへの委託可)	生活保護受給に至る前のセーフ ティネット機能の充実	【就労支援件数】 ・5件/年	【R4】 ・10件	・「福祉相談支援センター ほっと」と連携して生活保 護に至る前の困窮者の支 援を行った。就労意欲が 低下している者への就労 支援が課題	累計件数 ・20件	福祉課
	地域福祉拠点の整備	継続	概ね旧小学校区を単位とする14地区に地域福 祉の活動拠点を整備し、運営組織(まちづくり 委員会)の立上げ支援	支え合い活動が強化され、高齢 者や障がい者等が住み慣れた 地域で安心して暮らし続けられ る地域づくりの推進	運営組織の立ち上げ支援	【R4】 ・未設置地区住民向けイベント の開催	・令和4年度から国中地区 に集落支援員を配置し、 地域住民向けのイベント 等を開催した。西郡家地 区については、「健康づく りの集い」として地区を対 象としたイベントを開催 した。国中地区において は、役員の選出が課題。 西郡家地区についてはコ ロナの影響で進まなかつ た集落説明会をすすめる こと、拠点の検討等が課 題	地域福祉拠点整備 ・14地区	福祉課

【八頭の豊かさをともに創る(農林業・商工業・観光)】

- ◎多様な農業者による農業経営を支援し、スマート農業、環境保全型農業を推進します農産物のブランド化、6次産業化、有害鳥獣対策に関係機関と連携して取り組みます
- ◎森林管理システムの下、経営の集積・集約化を進め、雇用の創出と森林資源の適正な保全に関係機関と連携して取り組みます
- ◎産・官・学をはじめ、関係機関との提携による、起業や町内事業者のチャレンジを支援し、活力ある商工業を推進します
- ◎地域に眠る資源を磨き上げ、着地型、体験型のコンテンツの開発、販売ルート確立による観光振興を図り、賑わいのまちづくりを創出します

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標(R8年3月)	担当課
農業の振興	スマート農業の実装促進	新規	高齢化等による担い手の減少が進んでいる中、持続可能な農業を実現するため、大規模農家を中心にスマート農業の社会実装(農業散布用ドローン、直進アシスト田植機、ロボットコンバイン、圃場水管理システム等「スマート農業技術カタログ」に掲載されたスマート農業機械の導入推進)	農作業における省力・軽労化が進められ、農地集積に期待が持てる新規就農者の確保や栽培技術力の継承	【スマート農業導入数】 R4:6経営体 R5:7経営体 R6:8経営体 R7:10経営体	【R4】 ・7経営体	・県補助事業を活用し2経営体において、直進アシスト機能付き田植機、農業等散布用ドローンの導入が行われスマート農業の社会実装が推進	累計導入数 ・10経営体	農業委員会 産業観光課
	農業におけるDXの推進	新規	大規模農家を中心に農業経営分析支援システムの導入推進	農業経営分析支援システムの導入を推進し、農産物生産に係る省力化、製品化率の向上	【農業経営支援システム導入数】 R4:4経営体 R5:5経営体 R6:6経営体 R7:7経営体	【R4】 ・4経営体	・農業経営分析支援システムについては現在のところ農業法人等の大規模農家が導入している状況。個人農家におけるスマート農機の導入も少しずつ進んでおり、スマート農機と連携した農業経営分析支援システムの導入についても推進	累計導入数 ・7経営体	農業委員会 産業観光課
	地域計画の作成	継続	地域における「人・農地プラン」の作成を推進し、貸し手、借り手の意向等情報収集を行い、中間管理事業への誘導、担い手への紹介などの効率的な利用集積を推進	農業経営の安定、農地の適正管理	【利用集積面積】 R4:890ha R5:935ha R6:945ha R7:960ha	【R4】 ・924ha	・農地中間管理事業を活用し担い手等への利用集積が推進 ・農地バトロールの結果により守るべき農地の的確な判断を実施、地域における農地利用の将来方針を話し合い、担い手等の農地利用意向の把握に努め地域計画の作成を進める	利用集積総面積 ・960ha	農業委員会 産業観光課
	環境保全型農業の推進	新規	有機農業の推進による環境への負荷を低減、中山間地域環境直接支払制度の活用推進により有機・特栽面積の拡大を目指す	農業における環境への負荷を低減	【中山間地域環境直接支払交付金事業取組農業者数】 R4:4経営体 R5:5経営体 R6:6経営体 R7:7経営体	【R4】 ・4経営体	・有機農業1,184a、たい肥の施用6,737aの取組があり、自然循環機能の維持増進 ・取組み経営体増加に向け、引き続き町内農業者等へ情報提供	累計取組農家数 7経営体	農業委員会 産業観光課
	多様な農業経営者の支援	新規	担い手不足、後継者不足など、中山間地域が抱える課題に対し、小規模農家の農業生産活動の継続に向けた支援を行う。	農家所得向上、農地維持、離農者の抑制	【小規模農家経営継続事業取組農業者数】 R4:6経営体 R5:7経営体 R6:8経営体 R7:9経営体	【R4】 ・11経営体	・農業用機械の購入費用を町単独補助金により助成し、小規模農家の経営継続を支援 ・補助制度の周知を実施	累計取組農家数 30経営体	産業観光課
		継続	優良農地の継承 果樹優良園を新たな担い手へ継承するまでの間、維持管理を行う果樹グループなどの経費負担を軽減	果樹の就農希望者等へ優良園の継承	【新規就農者】 R4:1名 R5:1名 R6:2名 R7:3名	【R4】 ・1名	・梨園をJA果実部で中間管理し、果樹の就農希望者へ継承 ・新規就農者の栽培技術研修先の確保が課題	新規就農者等 ・3名	産業観光課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況 及び課題等	到達目標 (R6年3月)	担当課
	大学と連携した農業振興	新規	鳥取大学との連携により、農業における課題解決に向けた取組を展開 (生産性向上、新技術開発)	農産物の品質向上、作業効率向上等による農家所得向上	課題の掘り起こしと調査・研究	【R4】 ・3課題の調査・研究	・鳥取大学、県八頭農業改良普及所と連携し、農業課題について調査・研究 ①果樹剪定枝の有効利用の研究継続(山本定博教授、西原英治教授) ②土壌特性指標作成の研究継続(山本定博教授) ③アスパラガス茎枯病対策の研究継続(木戸一孝准教授)	課題を整理し、調査・研究を継続的に実施	農業委員会 産業観光課
	有害鳥獣対策	新規	狩猟者の負担軽減のため、ICTを活用した対策の研究	有害鳥獣による農作物被害の軽減	課題の掘り起こしと、聞き取り調査・研究	【R4】 ・10台(自動捕獲システム)	・センサーにより個体の大きさを判別することで、捕獲効率を高める自動捕獲システムを導入 ・引き続き、狩猟者の負担軽減のための調査・研究	課題を整理し、調査・研究を継続的に実施	産業観光課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標(R6年3月)	担当課
林業の振興	森林整備・林業成長化の推進	新規	標準伐期以上森林の皆伐再造林を推進	齢級構成の均一化、循環型林業の確立	調査・研究及び施策実施	【R4】 ・6.88ha	・八頭中央森林組合が町内公社区域にて皆伐再造林実施 ・民有林実施のため調査研究	皆伐再造林 ・2施業地以上	産業観光課
		新規	高性能林業機械の導入を支援スマート林業を推進	低コストな森林整備体制の確立	【素材生産量】 R4:11,800㎡ R5:12,200㎡ R6:12,200㎡ R7:13,200㎡	【R4】 ・10,122㎡	・事業者による高性能林業機械の導入は見送られたが目標値に近い素材生産量を確保 ・引き続き補助制度の周知啓発を行い林業のスマート化を推進	素材生産量 ・13,200㎡	産業観光課
		継続	森林経営管理制度(森林バンク)の取り組みを推進	適正な森林整備の促進	【経営管理権設定意向調査面積】 R4:967ha R5:1,134ha R6:1,344ha R7:1,622ha	【R4】 ・1,005.05ha	・山田、山路、大坪及び徳丸地区に対して意向調査を実施し適切な森林整備を推進	経営管理権設定意向調査面積 ・1,622ha	産業観光課
商工業の振興	事業者のチャレンジ支援	継続	起業活動の支援や企業誘致を推進	新たな雇用の創出	【新規起業件数】 ・8件/年 【新規企業誘致数】 ・1件/年	【R4】(新規起業件数) ・8件/年 【R4】(新規企業誘致数) ・0件/年	・商工会と連携し、起業創業に対する補助金活用等で起業を支援 ・企業誘致については、商工会・単Lab.等と連携し誘致活動を継続	累計件数 ・32件 累計件数 ・4件	産業観光課 商工観光室
	商工業者のキャッシュレス化支援	新規	キャッシュレス決済の導入を支援	新規顧客の獲得、売上増	【新規導入店舗数】 ・3件/年	【R4】 ・0件/年	・商工会と連携し、キャッシュレス決済導入の支援を継続	累計件数 ・12件	産業観光課 商工観光室
	特産品の販路拡大	拡充	物産展・ネットショップ等の活用	知名度向上、販路開拓	【出展数】 ・3回/年	【R4】 ・3回/年	・関西を中心に八頭町産品の物産展を開催し知名度向上等につなげた ・アフターコロナに向けて、さらに推進を図る	累計出展数 ・12回	産業観光課 商工観光室 関西事務所
観光振興と賑わいまちづくり	観光関連交流・関係人口の拡大	新規	観光資源を活用した体験型コンテンツの開発	観光客の増加	【新コンテンツ利用者数】 R4:100人/年 R5:200人/年 R6:300人/年 R7:400人/年	【R4】 ・1,280人/年	・星空保全地域の指定により、星空観望会の年間実施や令和5年「うさぎ年」に向けた白兔伝説関連イベントなど、新コンテンツ開発により観光入込客であったり、新たな層へ向けた八頭町ファンの獲得(関係人口の創出)	累計利用者数 ・1,000人	産業観光課 商工観光室
		新規	ワーケーションモニターツアー等の実施	交流・関係人口の増加	【モニターツアー等受入数】 ・2件/年	【R4】 ・3件/年	・モニターツアーを募集し、東京の企業を誘致(満足度も高く好評)	累計件数 ・8件	産業観光課 商工観光室

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況 及び課題等	到達目標 (R6年3月)	担当課
		新規	郡家駅周辺の活性化対策(駅前の空き店舗等 利活用促進)	駅前の活性化	【空き店舗の利活用】 R4: 検討委員会立ち上げ R5: 検討委員会による検討 R6~R7: 空き店舗等の利活用 支援	【R4】 ・検討委員会の設置 ・委員会開催(1回)	・郡家駅前の活性化に関 する協議及び必要な調査 研究を進める委員会を設 置 ・今後は周辺の状況や実 態、ニーズ調査をなが らの検討を進める	継続的な支援の実施	産業観光課 商工観光室
	地域おこし協力隊制度の活用	継続	地域おこし協力隊の計画的な募集	地場の元気を取り戻し、若者の 流入を促進	【募集人数】 ・2人/年	【R4】 ・2人入隊	・町の活性化を目指しあ らゆる分野で活動 ・地域の人の受け入れに 若干の時間が必要	累計人数 ・8人	産業観光課 商工観光室
	若桜鉄道の観光への活用	継続	観光車両の活用	観光車両やラッピング列車を活 用した町内への誘客を促進	【団体利用者数】 ・6,000人/年	【R4】 ・2,066人/年(ツアー64件)	・コロナ禍であったが新た な体験メニューを造成し旅 客収入の確保に務めた ・団体旅行から少人数で の旅行にシフトしていく傾 向がある中、高付加価値 を求める個人旅行者への 情報発信が必要	累計団体利用者数 ・24,000人	企画課
	国内・国際交流の推進	継続	大阪市住吉区・神戸市長田区・武蔵野市との 交流や交流協定を締結している韓国横城郡と 様々な分野での交流を促進	地域間交流や国際交流による 人材育成と地域活性化	国内・国際交流の継続実施	【R4】 ・神戸市長田区との交流事業を 実施 ・日韓相互図書寄贈交流事業	・「第12回まちの文化祭」 に参加して疎開交流を継 続していることを周知す るとともに、本町のPRを 実施 ・コロナ禍により各種交 流事業が途絶えているた め、アフターコロナを見据 えた交流事業を計画す る必要あり ・コロナ禍により人的な 国際交流事業を実施でき なかつたため、相互に図 書を寄贈する文化的交 流を図り、次年度以降の 多様な交流につなげてい く	国内交流 ・3地域 国際交流事業 ・3事業	企画課

【八頭の輝きをともに紡ぐ(教育・文化・スポーツ)】

- ◎子供たちが安心して学べる教育環境を整え、ICTの活用をはじめとした教育のデジタル化に取り組み、社会にはばたく人材の育成を目指します
- ◎生涯学習を充実し、自己を高め、その学びを社会に活かす、人づくり・絆づくり・地域づくりを進め、心豊かに暮らせるまちづくりを推進します
- ◎共有の財産である歴史的建造物、地域独自の文化を形づくる伝統文化の保護・継承・発展を地域住民、関係団体等と連携して進めます
- ◎体育環境(次期国体ホッケー競技場検討)、体力づくりの支援等を進め、誰もがスポーツに親しみ、健康に過ごせるまちづくりに取り組みます

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標(R6年3月)	担当課
教育環境の充実	ICT教育の導入・促進	拡充	電子黒板やタブレットPCの導入などICT教育の環境整備 外国人トレーナーとオンラインでマンツーマンレッスン(中学校)	児童・生徒の学力向上、資質・能力の向上	eラーニング教材(eライブラリー)の利用、ICT支援員継続配置 オンラインレッスン(スパトレ) R5:3回/年/人 R6:5回/年/人 R7:5回/年/人	【R4】 ・eラーニング教材(eライブラリー)を全小学校で使用 ・ICT支援員を小中学校に配置 ・電子黒板6台更新	・eライブラリーはオフラインでも使用可能で好評。 ・年度途中から中学校も使用(無料) ・ICT支援員は全小中学校に1回/2週間の頻度で訪問指導、オンライン対応も可能 ・英語力向上に向け、R5年度から外国人とオンライン英会話レッスン(スパトレ)を実施予定	デジタルコンテンツの導入及び英語力の向上	学校教育課
	教育に係る経済的負担の軽減	拡充	新入生を対象とした入学祝い金の支給の拡充	入学児童・生徒保護者の経済的負担軽減及び町内事業所の活性化	R4~R5:検討 R6:実施	【R4】 ・入学祝い金(商品券)を支給 小学校 132人 中学校 141人	・R6年度入学者分は従来どおりの予算措置のため、拡大に向けた検討が必要	新入学児童・生徒全員支給	学校教育課
	郡家東小学校大規模改修(長寿命化)	新規	老朽化に伴う郡家東小学校の大規模改修	児童・教員の安心安全な学校生活と児童の学習効率を向上	R4:長寿命化工事設計、仮設校舎設計、仮設校舎発注 R5:長寿命化工事 R6:長寿命化工事⇒完成	【R4】 ・工事設計委託 ・仮校舎設計委託 ・仮校舎リース発注	・R5年度本工事に向け準備を進め、R6年度完成予定	改修工事完了(R6)	学校教育課
社会教育の充実	公民館事業の充実	拡充	体験型教室、講座の創設	心豊かな生活、生きがいづくりを支援	【教室・講座数】 ・3回/年	【R4】 ・芸能文化発表会(1回) (7団体 51名) ・親子ボニー教室の開催(1回) (31名)	・コロナ禍によって中止していた芸能発表会を有観客で実施 ・小学校で行っているボニー教室を親子で体験できる形を取り入れ、命の大切さを学ぶ機会を提供	累計回数 ・12回	公民館
	図書館機能の拡充	拡充	乳幼児支援事業の創設	幼少期における読書習慣の確立	【保育所への貸出冊数】 ・6,000冊/年(R5~)	【R4】 ・保育所5園への本の貸出(6,060冊/年(公共図書館より))	・保育所図書支援充実のため、R5年度から予算措置を行い、拡充を図る	累計冊数 ・18,000冊	図書館
芸術・文化の振興	芸術文化創造拠点の形成(芸術文化交流プラザ)	新規	デジタル技術による文化財・芸術家等の情報記録と利活用	データ保存と鑑賞環境の充実	機器整備及び映像化・データ化	【R4】 ・事業内容の検討	・事業内容を検討し、R5年度事業着手予定	映像化された文化財の観覧及び上映会等の実施	社会教育課 芸術文化交流プラザ
		新規	芸術家、工芸家、文化人などの作品展示	芸術文化の再発見と振興	常設展示及び定期的な企画展の実施	【R4】 ・橋本興家季節展(3回) ・芸術家企画展(2回)	・芸術家の掘り起こしを行った。作品募集を行っているが周知不足により応募が少ない	芸術家等の作品展示	社会教育課 芸術文化交流プラザ
	総合型地域文化クラブの整備	新規	総合型地域文化クラブ設立に向けた環境整備	環境整備を図ることにより、部活動の地域移行を促進	設立の検討及び事業開始	【R4】 ・事業内容の検討	・事業内容を検討し、設立に向け団体と協議	総合型地域文化クラブの設立	社会教育課 芸術文化交流プラザ
	文化財の保護	新規	国の天然記念物及び国県町の指定文化財の適正保護及び維持管理	文化財保護法遵守による適正管理	文化財の適正管理	【R4】 ・コウノトリ人工巣塔設置(1基) ・管理者への管理費補助(4件) ・改修費補助(1件)	・補助要綱の対象事業費を拡充し、管理者の負担を軽減	コウノトリの人口巣塔設置、繁殖指定文化財の適正管理	社会教育課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R6年3月)	担当課
	郷土芸能の維持・復活	継続	地域の郷土芸能の復活や維持を支援	地域文化の再発見と文化が振興できる。	地域に伝わる伝統芸能や、郷土芸能などを掘り起こし、復活、また維持のための支援	【R4】 ・伝統芸能発表会 ・水口人形芝居体験事業（済美地区公民館） ・八東地域の歴史探訪（安部地区公民館）	・多くの伝統芸能団体との意見交換補助制度や支援等の意見を集約	地域に伝わる伝統芸能や郷土芸能などの復活または維持のための支援を継続的に実施	社会教育課 芸術文化交流プラザ 公民館
スポーツの振興	社会体育施設の整備	新規	次期国体ホッケー場の検討及び社会体育施設の適正配置・整備	社会体育施設の充実	施設の有効活用及び協議	【R4】 ・社会体育施設の修繕 ・施設の有効活用	・体育館屋根改修 ・未使用グラウンドの間仕切りを撤去し、多目的に使用できる運動場に改修	利用率の向上	社会教育課
	総合型地域スポーツクラブの整備	新規	総合型地域スポーツクラブ設立に向けた環境整備	環境整備を図ることにより、部活動の地域移行を促進	設立の検討及び事業開始	【R4】 ・関係団体との協議	・町体育協会、スポ少等と設立に向けた説明会を実施	総合型地域スポーツクラブの設立	社会教育課

【八頭の安心をともに築く(防災・防犯・交通・環境)】

- ◎災害を未然に防ぐ急傾斜崩壊対策、河川改修、排水対策等、ハード事業の推進と、消防団・自主防災組織が取り組む防災活動を支援し、災害に強いまちづくりを進めます
- ◎防犯灯の設置、防犯パトロールなど防犯対策を推進し、交通安全施設の整備と郡家駅自由通路の計画を進め、利便性の高い、安心で安全なまちづくりに取り組みます
- ◎鉄道・路線バス・やずバス等、公共交通機関の利便性の向上を図り、タクシー助成などと合わせた多様な移動手段の確保に取り組みます
- ◎SDGsの目標の一つである、脱炭素社会の実現、リデュース、リユース、リサイクルの取り組みや再生可能エネルギーの活用など、自然と共生した循環型社会を目指します

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標(R8年3月)	担当課
防災体制の充実	防災・消防用具の整備	拡充	消防用具と防災備品の購入補助(一時避難所の物品拡充)	地域防災設備の充実	【消防用具等補助件数】 ・60件/年	【R4】 ・68件	・各集落へ消防用具等の補助を行い、地域防災力の強化を図る	累計補助件数 ・240件	防災室
	防災マップ・地震ハザードマップの更新	継続	防災マップ・地震ハザードマップを見直し	災害時に住民を安全かつ迅速に避難させる体制の促進	R4: 修正(法改正等) R7: 見直し	【R4】 ・防災マップ修正(法改正等)	・防災マップを利用して、防災学習会等を実施	ハザードマップを活用した避難訓練を実施	防災室
	災害時要支援者台帳等の整備	継続	災害時の避難に支援が必要な障がい者等の支援体制の整備に向けて、災害時要支援者台帳への登録及び個別避難計画の作成	障がいのある方等が安心して暮らせる地域防災体制の確立	【要支援者台帳登録者数(同意有)】 R4: 350人 R5: 360人 R6: 370人 R7: 380人	【R4】 ・340人	・要支援者台帳登録を行い、情報を集落役員・担当民生委員と共有することで、災害時の避難等の体制充実を図る	登録者数 ・380人	福祉課
	水道老朽管更新、処理施設統合	継続	施設長寿命化・更新計画の作成での水道老朽管更新、処理施設統合の推進	安定供給・処理での防災体制強化及び、耐震化並びに水道有収率の向上	【下徳丸・日田・丹比中央】(水道管路300m) R4: 地元説明 R5: 実施設計 R6: 工事施工 R7: 工事施工	【R4】 ・石田百井送配水管布設工事(送水管223m、配水管234m) ・郡家浄化センター曝気機更新の実施設計1式 ・下徳丸・日田・丹比中央処理区統合計画の地元説明会実施	・送配水管老朽化のため、石田百井送配水管布設工事を実施 ・ストックマネジメント計画に基づく曝気機更新の実施設計を実施 ・下徳丸・日田・丹比中央処理区統合計画について、関係集落で説明会を実施	水道管耐震化率 ・17.9%⇒18.5% 有収率 ・78.1%⇒86.0%	上下水道課
	郡家地区内水面排水対策	新規	内水面による浸水対策	内水面による排水対策を実施することにより浸水被害を解消	通年調査・工事施工	【R4】 ・調査	・郡家地域において調査を実施	浸水被害の解消	建設課
防犯・交通安全・施設の整備	カーブミラーの設置修繕	継続	カーブミラーの新設及び修繕を推進	見通しの悪い交差点等での交通事故の軽減	【新設・修繕件数】 ・15基/年	【R4】 ・12基	・町によるカーブミラーの設置、及び集落のカーブミラー設置に対する補助を行い、交通事故防止を図る	累計件数 ・60基	防災室
	防犯灯(LED化)の設置修繕	継続	防犯灯の新設を推進	防犯及び交通の安全の確保	【新設・修繕件数】 ・15基/年	【R4】 ・55基	・町による防犯灯の設置、及び集落の防犯灯設置に対する補助を行い、防犯及び交通の安全を図る	累計件数 ・60基	防災室
公共交通の維持	地域公共交通の検討	新規	若桜鉄道、日本交通若桜線を基幹路線とし、やずバスやタクシー利用と、将来的には自動運転を含めた地域公共交通ベストミックスの検討	公共交通機関の維持と地域活性化の促進	R4: 町民アンケート調査 計画策定 R5~R7: 計画の推進	【R4】 ・若桜鉄道輸送人員 47.5千人 ・町営バス利用者数 34,299人 ・タクシー利用登録者数 1,150人 ・八頭町地域公共交通計画策定(R5.3月)	・若桜鉄道の輸送人員はコロナ禍前に戻りつつある中、約75%を占める通学利用から、普通旅客、通勤旅客利用を伸ばしていく必要あり ・町地域公共交通計画を策定し、持続可能な公共交通の構築を図る	若桜鉄道乗車人員 ・40.2万人/年 町営バス利用者数 ・39,000人/年 タクシー利用登録者数 ・1,000人	企画課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況 及び課題等	到達目標 (R6年3月)	担当課
	生活道整備	継続	道路の改良整備により強い生活基盤の推進	活力ある社会形成と安全安心の生活環境の確保	【事業費ベース実施率】 R4: 69.1% R5: 73.7% R6: 88.1% R7: 100%	【R4】 ・61.1%	・6路線の改良を実施	社会資本整備事業等 ・7路線改良	建設課
	橋梁整備	継続	橋梁の改良整備により強い生活基盤の整備	活力ある社会形成と安全安心の生活環境の確保	【事業費ベース実施率】 R4: 57.9% R5: 73.7% R6: 88.1% R7: 94.1%	【R4】 ・49.0%	・19橋梁の整備を実施	道路メンテナンス補助金 事業分 ・62橋整備	建設課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標(R6年3月)	担当課
循環型社会の推進 (カーボンニュートラル)	再生エネルギーの活用	継続	太陽光発電設備や薪ストーブ等の導入者に対する助成を実施	再生可能エネルギーや環境にやさしい資源の活用促進	【太陽光発電設備等申請件数】 R4:17件 R5:20件 R6:21件 R7:22件	【R4】 ・17件	・太陽光発電設備に9件、薪ストーブに8件の補助を実施 ・補助対象設備の導入推進を図るとともに、訪問販売等によるトラブルを抑制する周知が必要	累計件数 ・80件	企画課
	環境に配慮した公用車への転換	新規	電動車(EV・PHV等)を計画的に購入	温室効果ガスの削減	【購入台数】 ・1台/年	【R4】 ・購入検討	・R5の購入に向けた検討 ・電設備の増設等も必要	累計台数 ・4台	総務課 企画課
	公共施設への太陽光発電設置導入検討	新規	公共施設への太陽光発電設置導入を検討		R4～R5:調査研究 R6～R7:導入	【R4】 ・調査実施	・他市町村の導入実績等を調査を実施	公共施設への太陽光発電設置	総務課 防災室
	3Rを意識した生活の推進	新規	食品ロス削減の推進(フードドライブの実施)	ごみの減量化、リサイクルの推進、CO2削減	【フードドライブ実施回数】 ・2回/年	【R4】 ・2回	・提供された食品は、その後町内の子ども食堂に提供(7月:17点、1月:16点)	累計回数 ・8回	町民課
			ケーブルテレビ等を活用した啓発		啓発の実施	【R4】 ・10回開催	・町報や家庭ごみの分別手引きで啓発を実施	継続的な啓発	町民課
			ごみの分別とリサイクルの取組推進(出前講座の実施)		【実施回数】 ・3回/年	【R4】 ・4回	・町内の4つのまちづくり委員会(済美、中私都、下私都、八東)への出前講座を実施し、分別等の啓発を実施	累計回数 ・12回	町民課

【八頭の明日をともに歩む(協働・参画・人権・行財政)】

◎地域課題と目標を共有し、積極的な情報提供と町民の意見・提案をつなぐ対話の機会をつくり、町民参画のまちづくりを推進します

◎SDGsの理念の下、人権が尊重される社会の実現に向け、人権教育・人権啓発に取り組み、町民、企業、団体等と連携し人権施策を総合的に推進します

◎行政手続きのオンライン化・ICTを活用した業務の効率化により行政サービスの利便性の向上を図ります

◎本庁舎建設に取り組むとともに、健全な財政運営、空き校舎等の公共施設の有効活用と適正な維持管理に努めます

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
情報提供と町民参画	CATV加入促進	継続	情報提供の拡大 (CATV加入促進)	情報提供の充実及び情報の共有化	【CATV加入率】 R4: 加入率40.5% R5: 加入率42.0% R6: 加入率43.5% R7: 加入率45.0%	【R4】 ・加入率39.0%	・光回線の申込時等にCATVについても案内 ・CATVの告知や番組内容の充実化等	加入率 ・45%	企画課
	ホームページ・SNS・CATVデータ放送の充実	継続	情報提供の拡大 (ホームページのリニューアル・SNS・CATVデータ放送の充実)	最新情報を幅広く速やかに提供することにより、情報提供の充実及び情報の共有化	【HPアクセス数】 R4: 34,000ページビュー/月 R5: 36,000ページビュー/月 R6: 38,000ページビュー/月 R7: 40,000ページビュー/月	【HPアクセス数】 R4: 37,993ページビュー/月	・3月にリニューアル実施 ・SNS等との連携強化により更なるアクセス数の増加を図る	HPアクセス数 (トップページ月平均) ・40,000ページビュー	企画課
	協働のまちづくりの推進	継続	各種団体等との意見交換を実施	住民と行政との協働によるまちづくりを促進	継続実施	【R4】 ・各種団体等と実施	・継続的に各種団体等との意見交換会を実施 ・コロナ禍により中止としている「行政懇談会」についてR5実施検討	意見交換等の継続実施	総務課
人権尊重と人権尊重社会の実現	人権啓発の推進	新規	人権を尊重するまちづくり基本計画(第2次)	お互いの人権を尊重する明るい地域づくりの促進	R5: 町民意識調査実施 R6: 基本計画策定 R7: 基本計画推進	【R4】 ・R5町民意識調査準備	・関係機関と連携して町民意識調査の設問作成を進めた。R6基本計画策定に活かせる意識調査の内容・手法を検討・実施	基本計画の策定・推進	人権推進課
		継続	人権問題学習会参加率(世帯)の増加を推進	町全体で差別解消に向けた学習会の取り組みが促進	【人権問題学習会参加率】 R4: 32.0% R5: 36.0% R6: 40.0% R7: 42.0%	【R4】 ・37.6%	・コロナ禍の中、ケーブルテレビやYouTube等を活用した自宅学習を取り入れ定着してきている。コロナの規制が緩和されていることもあり、参集しての学習の推進を検討	学習会参加率 ・42%	人権推進課
	男女共同参画社会の実現	継続	各種審議会委員等への女性登用にあたっては、推薦団体へ積極的に働きかけるとともに、女性の公募制の導入促進	政策・方針決定過程への女性の参画拡大	【委員等女性登用率】 ・40%以上	【R4】 ・40.4%	・各種審議会委員等への団体推薦による女性登用の働きかけや、公募制の導入により、登用率の増加を図った ・今後も各種団体等に働き掛けていくとともに、女性登用率が40%未満の所属課へ、啓発・協力要請を実施	女性登用率 ・40%以上を維持	男女共同参画センター

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
DXの活用等による健全な行財政運営	SDGsの推進	新規	SDGsを意識した事業展開及び啓発	安心して暮らせる誰ひとり取り残さない地域・社会の形成	SDGsに関する啓発の実施	【R4】 ・広報にSDGs連載記事を掲載 ・SDGsパネル、ボックスの展示	・継続的な啓発活動	SDGsの継続的な推進	企画課
	DXの推進	新規	DXの推進による地域社会や行政制度の変革	町民一人ひとりがデジタル化の恩恵を享受することで、豊かさや幸せを実感することのできるまちづくりが促進	R4:DX推進方針の策定 アクションプラン策定 R5～R7:計画的実施	【R4】 ・DX推進方針及びアクションプランの策定	・方針等に基づく全庁的なDXを推進	行政事務及び地域社会のDXの継続的な推進	地域戦略室
	企業版ふるさと納税	新規	企業版ふるさと納税の確保にむけたPR等の実施	一般財源の確保	【寄附件数】 R4:5件 R5:10件 R6:15件 R7:20件	【R4】 ・11件(610万円)	・年度中途からの事業開始だったが、想定を超える件数・寄附金を得た ・更なる寄附獲得を目指す	寄附の確保を継続的に推進	地域戦略室
	民間活力の導入	継続	指定管理者制度の活用や民間活力の導入により事務事業を委託し、効率的な行財政運営を推進	効率的な行政運営の確保	・指定管理や社協等への委託を実施	【R4】 ・11施設	・令和4年12月で指定管理を辞退した八東ふる里の森のついで、新たな指定管理者の選定を行った	効率的な行財政運営の確立	総務課
	安定的な行政サービスの提供	継続	事務事業の見直し及び組織改革を行ったうえで、定員の適正化を実施	効率的な行政サービスの提供及び適正な財政運営の確保	定員の適正化を実施	【R4】(4月1日現在値) ・220人	・第4次定員適正化計画の進捗管理を行い、退職者等に対応した採用者のバランスを図りながら、計画的に継続実施	職員数 ・222人	総務課
		継続	歳入・歳出項目ごとの推計額をできるだけ確に捉えた財政計画を作成することで、町財政の健全化・効率化を実施	町財政への影響額を見据えた効率的な財政運営の確保	効率化の実施	【R4】 ・財政計画の策定(年2回)	・交付税の漸減等、歳入・歳出推計を図り、決算時と予算時の年2回、財政計画を策定 ・将来的に持続可能な行財政基盤を確立するため、中期的な視点に立った財政計画を今後も継続して策定	効率的で安定的な財政運営の確立	総務課
		継続	新たな行政課題等に対応するため各種事業等の見直し等による行政運営の効率化を実施	効率的・効果的な行政運営の確立により持続可能な行政運営の確保	効率化の実施	【R4】 ・事務事業評価の実施(R3決算:10事業、R5当初:10事業)	・事務事業評価を行い、問題点や方向性等の課題整理を実施 ・今後も継続して実施	効率的・効果的な行政運営の確立	総務課
	公共施設の在り方検討	継続	統合により、使用しなくなった小中学校、保育所等を有効に利用するための調査検討	民間活用などにより、空き施設の有効活用	調査・検討の実施	【R4】 ・旧安部保育所使用貸借契約	・旧丹比保育所、旧丹比小学校及び旧八東保育所、旧八東小学校のあり方検討協議会を立ち上げ、活用方法について検討を継続中	民間活力を利用した八東地域3小学校の有効活用施策を実施	総務課
		継続	公共施設等総合管理計画の推進により、公共施設の統廃合を推進	適正配置による財政負担の軽減	調査・検討の実施	【R4】 ・個別施設計画の検討	・公共施設マネジメントシステムを運用し、個別施設計画を順次作成中 ・現状を把握し、今後の方向性を検討	個別計画を作成し、公共施設の統廃合等効率的な活用	総務課

項目	施策	区分	事業内容	効果	年次目標	実績	R4年度取組状況 及び課題等	到達目標 (R8年3月)	担当課
	本庁舎建設	継続	本庁舎建設及び施設整備検討	本庁舎機能を最大限発揮できる 環境の整備による利用者の利 便性向上	本庁舎位置の選定 施設整備の促進	【R4】 ・調査・研究	・鳥取県八頭事務所を優先 候補地とし、共同設置に向 けた検討の可否を申し入 れすることについて町議会 へ審議を依頼し、候補地 の一つとして申し入れるこ とについて了とされた ・鳥取県との協議を開始す るための課題整理を継続 実施	施設整備の推進	総務課